

平成28年度 学校評価

愛知県立国府高等学校

(1) 本年度の学校評価

本年度の 重点目標	自分の可能性を追求し さまざまな分野で挑戦できる生徒の育成 ア 学力の向上を図る。 イ 高い志を維持し、納得できる進路目標を達成する。 ウ たくましさと品格を備えた生徒の育成を図る。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項(評価方法等)
安全管理 (総務部)	防災体制の充実	①避難訓練をこれまでの形から、より良いものにする。 ②「きずなネット」の有効的活用。 ③家庭で防災について話す機会を設けるための工夫をする。	①地区別避難訓練を改善することができたか。 ②様々な場面に於いて「きずなネット」が有効的に活用できたか。 ③生徒一人一人が防災について考えることができたか。
学習指導 (教務部)	確実な教務運営	①業務手順の見直しと、留意事項の確認。 ②チェック体制の充実・整備。 ③新入試制度に対する準備。	①一つ一つの行事について、見直しと確認ができたか。 ②確実なチェックとなるよう、複数の目で見える体制を整えられたか。 ③情報収集に努め、確実な入試業務が遂行できるよう準備できたか。
生活指導 (生徒指導部)	交通安全教育の充実	①国道1号線立哨指導 ②イヤホン運転、スマホ運転禁止 ③250日間無事故・無違反ラリー(豊川警察署主催)に参加する。	①生徒は教員が見ていなくても1号線横断ルールを守れたか。 ②登下校時にイヤホン運転、スマホ運転が皆無になったか。 ③生徒が250日の間、第1原因となる交通事故を起こさなかったか。
生徒指導 (生徒会)	生徒会活動への積極的活動を促す取組の充実	①クラスマッチ・文化祭等学校行事の準備段階での意見交換の機会を確保する。 ②ボランティア活動に積極的に参加し、内容・参加募集方法を広く知らせる。 ③常に生徒会活動が伝わるよう広報活動を工夫する。	①各学校行事において、全校生徒が何らかの活動に参加し、喜びと充実感を持てたか。 ②ボランティア活動参加者、生徒会役員立候補者に増加がみられたか。 ③各行事への取組が学校全体の活力となったか。
進路指導 (進路指導部)	自ら考え自ら決断して、将来に向けチャレンジする進路指導	①ハイレベル模試や大学見学会などで、生徒自らが考え調べ行動することを促す進路指導を行う。 ②学習法や勉強法などの情報や進路情報(高大接続や入試形態の変更点など)の提供をする。 ③TOEICやTOEFLや英検や数学オリンピックなどへの積極的に参加を促す。	①3年生のセンター試験の受験人数を増やす。国公立大二次試験の出願数を200名以上となったか。 ②夏休みのラーニングフェスタへの参加者が増加したか。 ③3年普通科土曜学習会の参加が200名以上となったか。

<p>教員研修 (研修部)</p>	<p>各教科・分掌との連携を深めた現職研修の充実</p>	<p>①教務部と連携して定期的に教科主任会を開催する。 ②言語活動の充実やICTの活用など、課題発見に向けた主体的協同的学びとなるような授業の実施を呼びかける。 ③各種教員向け研修への積極的な参加を促す。</p>	<p>①各教科が進める授業改善への取り組みや授業評価のあり方等について情報交換ができたか。 ②教科会において言語活動の充実やICTの活用、授業評価などについて研究を進めることができたか。(事後アンケートを実施) ③学習指導や進路指導等の情報について全職員が研修する機会を設けることができたか。</p>
<p>図書館活動 (図書部)</p>	<p>図書館活動の活性化</p>	<p>①広報活動の柱である「図書館だより」の紙面をパワーアップし、多くの生徒が見たくなるような内容にしていく。また昇降口の「広報ボード」を定期的に刷新し、図書館からの情報を積極的に発信する。 ②「朝の読書」活動を最大限に生かすべく、図書館から効果的なサポートを行う。 ③授業やLT等での図書の紹介や図書館での活動を積極的に図書館から依頼・発信していく。</p>	<p>①図書館利用者数、図書貸出状況をこまめに記録し、過年度との比較を活かすことができたか。 ②図書資料の充実、配架方法の工夫に努め、展示コーナーを充実させることができたか。 ③書店や事務と連携しながら、月単位の選定図書の登録・貸出を円滑に行うことができたか。</p>
<p>学校保健 (保健部)</p>	<p>学校管理下(部活動、学校行事)におけるけがの減少</p>	<p>①事故発生状況を集約するとともに、全職員が周知し、未然にけがを防ぐように努める。 ②救急講習会や「熱中症予防」の講演を通して理解するとともに、未然にけがや熱中症を防ぐように努める。 ③「保健だより」に月ごとのけが発生件数を掲示し、保健委員が教室で報告することにより、けが防止を啓発する。</p>	<p>①全職員が未然にけがを防ぐよう努めることができたか。 ②けがや熱中症を減少させることができたか。 ③生徒一人一人がけがの現状を把握し、けがの予防に努めることができたか。</p>
<p>学校保健 (教育相談部)</p>	<p>高校生活にうまく適応できない生徒の早期発見と個性に配慮した適切な対応</p>	<p>①生徒の個性や家庭環境なども配慮しながら、適切な教育相談を行う。 ②教育相談委員会を定期的に実施し充実させる。 ③欠席、遅刻、早退の状況把握を行う。</p>	<p>①生徒の個性や家庭環境に配慮しながら、適切な対応がとれたか。 ②問題を抱えた生徒の情報提供を委員に正確に伝えることができたか。 ③クラス担任、学年会、保健部内や他の分掌との情報交換の機会が十分にとれたか。</p>

情報管理 (教育情報部)	校務支援システムの導入準備	①校務支援システムの操作ガイドを理解する。 ②在校生データを入力する。 ③現行システムとの整合性をチェックする。	①操作法を理解ができたか。 ②データの入力が終わったか。 ③一致しているか。
商業科 (商業科)	魅力ある商業科づくり	①科目「課題研究」を利用した魅力ある商業科づくりを行う。 ②さらに幅広く高度な学力を身に付けさせ、多様な進路を実現させるために進路指導と授業の見直しを行うことによって魅力ある商業科づくりを行う。 ③日頃の指導をとおして、生徒に商業科生徒であることの誇りと自信をつけさせる。	①中学生及び中学校教職員へのわかりやすいPR等ができたか。 ②例年と比較して、進学・就職等において充実した進路決定ができたか。 ③昨年と比較し、中学生の本校商業科への入学希望者が増加したか。
学年会 (1年)	自己理解をもとに主体的に学び、良識ある言動が行える生徒を育成する学年指導。	①授業を大切にすることを育成するとともに、家庭学習の定着を図る。 ②多くの知識と自己理解に基づく進路設計ができるように努める。 ③部活動や学校行事を通して、良識ある社会人としての素養を養う。	①授業や家庭学習に積極・継続的に取り組むことができたか。 ②進路指導・個人面談・学年通信などを通して、より具体的な進路設定ができたか。 ③良好な人間関係を築き、良識ある行動をすることができるようになったか。
学年会 (2年)	充実した学校生活を通して主体性を醸成し、自己成長力を高める学年指導	①中堅学年として学校の中心的な役割を担うことを自覚させる。 ②基礎学力の定着を計るため、家庭学習と授業を大切にさせる。 ③進路意識を高め、前向きに学習に取り組ませる。	①部活動、生徒会活動、学校行事、奉仕活動等において中心的な役割を果たせたか。 ②予習・復習を中心とした家庭学習の定着をはかり、授業へ積極的に参加しているか。 ③より具体的な進路目標を持ち、学習の成果を十分上げ得たか。
学年会 (3年)	進路目標の実現	①業後及び土曜日の学習会を実施し、積極的に参加させる。 ②課外や模試・各種検定に意欲的に取り組ませる。 ③自らの進路を設計するために、適切な情報を提供する。	①課外や学習会等の取り組み状況を把握できたか。 ②実力テスト・模試・検定結果等を有効活用できたか。 ③自らの学習計画に基づいて、段階的に学習させることができたか。 ④個々の目標を把握し、的確に対応できたか
学校関係者評価を実施する主な評価項目		① 授業研究、授業評価を通して授業力を向上させることができたか。 ② 納得のいく進路実現のために年間を通して有効な働きかけができたか。 ③ 国府高生としての自覚のもとに学校内外で行動できるよう指導できたか。	

